

平成 20 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 5,909,386 円

1. 外国人の受入れ拡大事業 5,149,159 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域との交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

特に平成 20 年度は、黒龍江省との友好県省締結 25 周年を記念した事業を実施した。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省友好県省締結 25 周年記念事業

ア 絵画を通じた児童・生徒の相互交流

○新潟県・黒龍江省「自然を描く」写生研修会 〈黒龍江省青少年訪日団〉

- ・期間：7月25日（金）～8月1日（金）
- ・交流内容：日本文化体験、施設見学、「芸能とトキの里」付近での写生など。
- ・参加人数：4名

〈新潟県青少年訪中団〉

- ・期間：8月4日（月）～8月8日（金）
- ・交流内容：中国文化体験、ホームビジット、施設見学、太陽島にて写生
- ・参加人数：8名

○新潟県・黒龍江省青少年交流作品展

- ・期間：11月3日（月・祝）～11月10日（月）
- ・場所：新潟県民会館1階展示ホール
- ・展示作品数：佐渡市で描いた作品22点、
ハルビン市で描いた作品15点 計37点

イ 「黒龍江省を知る」集中講座・展示

○「黒龍江省を知る」集中講座

- ・期日：7月6日（日）、7月12日（土）
- ・場所：新潟県国際交流プラザ
- ・講師：新潟大学大学院教授 井村 哲郎 氏
ハルビン師範大学助教授 孫 暢 氏
新潟大学大学院博士研究員 楊 夫高 氏
- ・参加者数：25名

○「中国黒龍江省写真展」

- ・期間：7月1日（火）～7月24日（木）
- ・場所：新潟県国際交流プラザ



太陽島での写生

- ・展示作品数：写真 30 枚、パネル 10 枚
- ウ 黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業（県委託事業）

②北東アジア地域との友好交流促進

ア モンゴル交流促進事業

急速な都市化と自動車交通の増大が進んでいるモンゴル・ウランバートル市において、渋滞や交通事故などが問題となっているため、新潟県の有する（雨水排水を含む）道路改良・維持管理技術をもって都市整備の向上に寄与することを目的に、NPO 団体等を構成員とする実行委員会を構成し、モンゴル現地への専門家派遣及び技術者の受入・研修等を実施した。

- ・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会
新潟県知事政策局国際課・土木部道路建設課
(財)環日本海経済研究所、(財)新潟県国際交流協会
- ・新潟県側の専門家派遣（8月21日（木）～8月25日（月））
- ・ウランバートルからの技術者招聘（11月16日（日）～11月22日（土））

イ 北東アジア諸国との友好交流拡大

北東アジア地域を対象としたミッションや会議等に参加し、現地関係者との意見交換や施設見学等を行った。

○新潟経済同友会ロシアミッション

- ・期間：6月29日（日）～7月3日（木）
- ・訪問先：極東海運研究所（FESCO）、ウラジオストク日本センター、ポストーチヌイ港、ナホトカ港、ウラジオストク港など

○第5回北東アジア国際観光フォーラム・ウランバートル会議

- ・期間：10月15日（水）～10月18日（土）
- ・参加国：日本、韓国、ロシア、モンゴル国

○日本海横断フェリー試験運航

- ・期間：10月23日（木）～10月26日（日）
- ・試験航路：新潟～トロイツァ港（ロシア）～琿春・延吉（中国）
- ・訪問先：琿春日本工業園区、延辺州新興工業集中区など

(2) 留学生就職支援フォーラム

留学生と地域との関わりを強め、双方にとって望ましい関係のあり方について探るため、昨年度に引き続き留学生の県内就職問題を中心に、現状の問題点や今後の改善に向けての具体的な方策を考えるフォーラムを開催した。

- ・期日及び会場：11月9日（日）

朱鷺メッセ中会議室201

- ・主催：(財)新潟県国際交流協会、新潟地域留学生等交流推進会議
- ・共催：新潟県、日本貿易振興機構新潟貿易情報センター、(特活)産学連



パネルディスカッション

携教育日本フォーラム

- ・協 力：(財) 環日本海経済研究所、(社) 新潟県商工会議所連合会、(社) 新潟県経営者協会、新潟経済同友会、にいがたインターンシップ推進協議会
- ・参加者：大学関係者、入管関係者、ハローワーク関係者、企業関係者、県内留学生等 101名
- ・構 成：第1部：基調講演
「日本企業における留学生の就職－その現状と課題について」
【講 師】田籠 喜三 氏 (富士通(株)人材採用センター長)
第2部：意見交換会
「留学生の県内就職促進に向けて」
【出席者】
 - ・新潟大学 キャリアセンター 就職課長 多田 夏子 氏
 - ・敬和学園大学 就職指導室長 高村 義之 氏
 - ・富士通(株) 人材採用センター長 田籠 喜三 氏
 - ・(株) エスエフシー新潟 代表取締役社長 荻部 宣輔 氏
 - ・ツインバード工業(株) 総務部次長 松原 浩史 氏
 - ・法務省東京入国管理局 新潟出張所長 田中 桂四郎 氏
 - ・ハローワークプラザ新潟ときめきしごと館 館長 野島 一生 氏
 - ・(財) 環日本海経済研究所 経済交流部長 佐藤 尚 氏
 - ・NPO 法人 産学連携教育日本フォーラム
企業ネットワーク推進マネージャー 小西 俊征 氏
 - ・(株) ニイガタマシンテクノ工機営業部 呂 彬 氏 (留学生OB)
 - ・亀田製菓(株) 海外業務室 包 玉梅 氏 (留学生OG)
 - ・新潟大学現代社会文化研究科 博士課程
スリュウサレーヴァ・エリェーナ 氏 (留学生)【司 会】新潟大学 国際センター 教授 阿波村 稔 氏

2. アジアを知る事業 593,698円

(1) 一般県民向け講座

一般県民を対象に、北東アジア地域を知る講座を朱鷺メッセにおいて、連続10回開催した。(開催時間はいずれも午後2時～3時30分)

①「東アジア理解への招待」

県立新潟女子短期大学教授 若月 章 氏

日時：8月30日(土) 参加者数：63名

②「東アジア地域における朝鮮人の移住と社会形成」

県立新潟女子短期大学准教授 権 寧俊 氏

日時：9月15日(月・祝) 参加者数：64名

③「東アジアと日本の文化交流」

県立新潟女子短期大学教授 板垣 俊一 氏

日時：9月28日（日） 参加者数：53名

④「ロシア史のなかのアジア世界」

新潟国際情報大学講師 池田 嘉郎 氏

日時：10月4日（土） 参加者数：50名

⑤「極東のロシア：ハバロフスクとピロビジャンを中心に」

県立新潟女子短期大学非常勤講師 中谷 昌弘 氏

日時：10月13日（月・祝） 参加者数：51名

⑥「漢字・中国・日本」 県立新潟女子短期大学准教授 高久 由美 氏

日時：11月9日（日） 参加者数：47名

⑦「現在の中国の文学状況」 県立新潟女子短期大学准教授 後藤 岩奈 氏

日時：11月16日（日） 参加者数：45名

⑧「韓国文学散歩」 県立新潟女子短期大学准教授 山田 佳子 氏

日時：11月29日（土） 参加者数：49名

⑨「朝鮮最初の近代小説」 県立新潟女子短期大学教授 波田野 節子 氏

日時：12月6日（土） 参加者数：47名

⑩「モンゴル遊牧民の暮らし」 新潟大学教授 白石 典之 氏

日時：12月21日（日） 参加者数：50名



アジア講座

（2）高等学校等海外修学・研修旅行説明会

県内の公立・私立高校や専門学校の校長等を対象に、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域を中心とした修学旅行説明会を開催した。

〈上越会場〉

- ・日 時：平成21年2月17日（火）
- ・会 場：上越地域振興局 401 会議室
- ・参加者：高等学校長、韓国観光公社、中国国家観光局、コンチネンタル航空等 18名

〈新潟会場〉

- ・日 時：平成21年2月18日（水）
- ・会 場：興和ビル 第5会議室
- ・参加者：高等学校長、韓国観光公社、中国国家観光局、グアム政府観光局、コンチネンタル航空等 33名

3. 受け皿整備事業 166,529円

（1）ホストファミリー整備事業

海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー実施団体との意見交換会、ホストファミリー実践講座及びホームステイを実施した。

①初心者向けホストファミリー実践講座

ア 上越会場

- ・期日及び会場：10月4日(土) 上越市民プラザ多目的学習室
- ・参加者：8家庭

イ 長岡会場

- ・期日及び会場：10月18日(土) ながおか市民センター
- ・参加者：4家庭

ウ 新潟会場

- ・期日及び会場：10月5日(日) 新潟県国際交流協会研修室
- ・参加者：6家庭

エ 佐渡会場

- ・期日及び会場：10月25日(土) 佐渡島開発総合センター
- ・参加者：5家庭

②ホームステイ実施

語学指導助手（ALT）19人を対象にホームステイを実施

- ・期日：11月15日(土)～16(日)
- ・参加者：19家庭

Ⅱ 国際協力活動の支援 6,033,706円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金 6,033,706円

(1) 支援助成（参考資料P1参照）

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内NGO又は個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

- ・助成実績：7件（申請8件）

5,850,000円



稲作技術の研修

(2) 基金運営

①審査委員会の運営

ふれあい基金事業の審査等を行う審査委員会を開催した。（委員：5名）

- ・期日：12月12日（金）
- ・会場：新潟県国際交流協会研修室

②募金活動（参考資料P2参照）

広く県民からふれあい基金への寄附を募るとともにふれあい基金事業の周知を図るため、市町村役場、県内各地の日帰り温泉施設、及び宿泊施設等に常設している募金箱により、募金活動を実施した。

③募金実績 (単位：円)

	17年度	18年度	19年度	20年度
募金額	383,544	281,656	341,117	176,579
累計	13,604,093	13,885,749	14,226,866	14,403,445

Ⅲ 多文化共生の支援 6,259,117円

5. 国際理解推進事業 3,171,615円

(1) プレゼンテーションコンテスト

学校での教科、「総合的な学習の時間」及びクラブ活動など、又は地域での活動などにおける国際理解をテーマとした学習の成果に関するプレゼンテーションコンテストを行った。

ア プレゼンテーションコンテスト

- ・参加団体：「中学生部門」4チーム、
「高校生部門」6チーム

・期日：12月13日(土)

・会場：朱鷺メッセ

・最優秀賞：

〈中学生部門〉新潟市立上山中学校

テーマ：「食の安全～日本と海外とのつながりから考える～」

〈高校生部門〉SRG

(新潟市立万代高等学校)

テーマ：「ワタシタチノコト、ホントウニワカッテル？」

イ スタディツアーの実施

最優秀賞チーム(上山中学校9名、万代高等学校3名 計12名)を中国スタディツアーに派遣した。

・派遣期間：3月27日(金)～3月30日(月)

・派遣先：中国ハルビン市

・活動内容：ハルビン市内見学、ハルビン第三中学校との交流、ホームビジット(ハルビン市、農村)、金上京歴史博物館見学など



中央大街ソフィア聖堂

(2) 高校生向け情報誌の発行

・発行時期：9月(第4号)、2月(第5号)

・配付先：県内の高校等112校、大学等18校、図書館、市町村・団体等
計57,000部

(3) 国際理解教育推進協議会

小・中・高・大学生及び教員を対象とする全県的な事業を推進するため、行政や関係機関等から成る推進協議会を開催した。

- ・期日及び会場：7月11日（金） 新潟県国際交流協会研修室
- ・参加者：17名
- ・議 題：平成20年度事業計画

6. 在住外国人支援事業 1,949,558円

地域住民の一人として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、相談事業及び日本語教室を実施した。

(1) 相談事業（新潟ヘルプの会へ委託）

○相談実績（参考資料P4参照）

- ・対応言語：8カ国語（英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、インドネシア語、ロシア語、スペイン語）
- ・相談件数：延べ877件（窓口相談199件、電話相談678件）
- ・相談内容：国際結婚、離婚、子どもの就学、ビザ取得など

○情報・意見交換会

- ・期 日：1月23日（金）
- ・会 場：新発田市生涯学習センター
- ・テーマ：外国籍住民に対する生活相談についての意見・情報交換
- ・講 師：横山 陽子 氏（新潟ヘルプの会代表）
小嶋アムナ氏（インドネシア語生活相談員）
- ・参加者：市町村、日本語教室などの民間団体等22人

(2) 日本語教室

①外国籍親子日本語教室事業

外国人住民の増加に伴い必要性が増してきている地域の日本語教育をサポートする講座等を実施した。

- ・委託先：日本語クラブ（三条市）
- ・協力団体：新潟大学
（講師：足立 祐子 氏）

- ・事業内容：外国籍親子日本語教室&日本語指導ボランティア養成セミナー
- ・期日及び場所：10月4日（土） ソレイユ三条
- ・参加者：日本語ボランティア27名、外国籍住民等15名

②日本語ボランティア育成事業

日本語ボランティアの養成及び能力の向上等を目的とする研修等を、民間団体に委託して実施した。



日本語指導ボランティア養成セミナー

ア いがた日本語の会ネットワーク

・実施期間：4月26日、5月10・24日、6月14・28日、7月12日
9月13・27日、10月11・25日、11月8・22日

・場所：クロスパルにいがた

・講師：足立 祐子 氏（新潟大学准教授）、池田 英喜 氏（新潟大学准教授）
有田 佳代子 氏（敬和学園大学講師）
佐々木 香織 氏（新潟国際情報大学講師）

イ (社)上越国際交流協会

・実施期間：5月10日、9月27日

・場所：上越市民プラザ

・講師：川室 京子 氏（(社)上越国際交流協会理事長）
横内 美保子 氏（浜松学院大学現代コミュニケーション学部教授）
春原 直美 氏（(財)長野県国際交流協会事務局長）

7. 留学生支援事業 1,137,944円

県内の大学等で学ぶ外国人留学生に対する次の支援を行った。

(1) 留学生を活用した事業に対する助成金（参考資料P5参照）

県内の大学等の留学生を支援し、留学生の資質を活かす先導的な事業に対し、助成金を交付した。

- ・助成実績：9団体（申請 9団体） 800千円
- ・事業例：留学生サッカー大会、留学生による国際理解教育、など。

(2) 留学生による調査研究の募集

新潟県と海外との交流促進をテーマとして、高い学識と外国人の視点をもって調査研究を行う留学生（グループ）を募集し、内容の優れたものに対して報奨金を交付するとともに、提出された調査研究レポートを関係団体に配付した。

- ・募集期間：5月1日（木）～6月30日（月）
- ・応募総数：8件
- ・7月29日（火）に有識者による審査会を開催し、下記3名の調査研究を採用した。

①全 頌 氏（上越教育大学大学院）

「新潟県および中国におけるビジネスホテル業の交流・発展に関する調査・研究」

②Chew Yew Choong 氏（長岡技術科学大学大学院）

「インターネットサービスによる新潟と海外のウェブサイト接続状況調査」

③何 為民 氏（新潟大学大学院）

「異文化の交流と観光振興ー内モンゴルと新潟を中心にー」

(3) 国際理解講座講師

新潟県国際交流プラザで行う国際理解講座の講師として、自国の文化、歴史、自然等を小・中・高校生に紹介した。

- ・講座実施数 11回（小：5回、中：4回、高：1回、大学：1回）

Ⅳの1 基盤強化（民間活動活発化） 7,924,750円

8. 民間団体助成事業 3,273,504円

(1) 国際化推進活動支援助成金の交付（参考資料P6参照）

市町村及び民間団体が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るため助成金を交付した。

- ・助成実績：市町村2団体（申請2団体）、民間団体28団体（申請29団体、うち助成決定後中止1団体） 3,228,181円
- ・事業例：日本語教室、国際映画祭、在住外国人・海外との交流事業等

(2) 研修室の貸出

民間団体の活動促進のため国際交流プラザ研修室の貸出しを行った。

- ・利用時間：平日、土日・祝日とも9時～21時
- ・利用件数：64件（20年4月～21年3月）

9. 民間団体ネットワーク構築事業 1,320,388円

県内3地域で行政、民間団体、大学などが参画する地域共生会議を設け、各々の特定テーマについての課題解決とネットワークづくりを図った。

(1) 各地区での取組

○上越地区共生会議

- ・テーマ：労働研修生問題を考える
- ・委託先：(社)上越国際交流協会

○中越地区共生会議

- ・テーマ：外国籍住民等との連携による学校現場での子どもの支援
- ・委託先：(財)長岡市国際交流協会

○下越地区共生会議

- ・テーマ：外国籍住民支援のための具体的施策
- ・委託先：新潟大学国際センター



外国籍児童生徒の進学説明会（下越）

(2) ワーキング部会等の開催

○第1回ワーキング部会

- ・期日及び場所：7月24日（木）新潟県国際交流協会研修室
- ・内容：平成19年度の実績報告及び平成20年度事業計画

- ・参加者：各地区共生会議担当者 5名
- 第2回ワーキング部会
 - ・期日及び場所：9月26日（金） 新潟県国際交流協会研修室
 - ・内容：生活相談事業に関する取組・全県的ネットワークの在り方等について
 - ・参加者：県内生活相談事業担当者、日本語教室主催者等 16名
- 第3回ワーキング部会（相談関係機関連絡会議）
 - ・期日及び場所：2月17日（火） 朱鷺メッセ小会議室 303・304
 - ・内容：生活相談事業に関する取組、共同事業の実施について
 - ・参加者：県内生活相談事業担当者、専門機関担当者等 19名

10. NGO連携フェア開催事業 2,508,358

アジア諸国を中心とする新潟と関わりの深い諸外国の文化や伝統を紹介するブース展示や、民族音楽・舞踊の披露、国際理解に関するゲーム及び県内 NGO 団体の活動紹介等を、NGO 団体・留学生等との協働により実施した。

- ・名称：にいがた国際交流フェスタ
- ・期日及び会場：8月1日（金）～3日（日）
朱鷺メッセアトリウム及び屋外多目的広場
- ・内容：韓国、中国、モンゴル、ロシアなどの文化・伝統紹介、民間団体の活動紹介、民族舞踊・歌、国際理解教育ワークショップなど
- ・参加団体：20団体
- ・協力機関：政府観光局、領事館、航空会社など
- ・併催：朱鷺メッセ5周年記念「フェスタ万代島2008」
- ・入場者数：4,600人



国旗クイズ

11. 在外県人会活動支援 822,500円

ブラジル、ホノルル、アルゼンチンの各新潟県人会に対して、現地での活動を支援するため助成金を交付した。

団体名	助成額（円）
ブラジル県人会	460,000
ホノルル県人会	165,000
アルゼンチン県人会	92,000
新潟県海外移住協会補助金	100,000
合計	817,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 3,551,924円

12. 人材育成 3,551,924円

民間団体等の人材の育成と次世代を担う若者の国際理解を深めていくための支援を行った。

（1）NGO スタッフ育成講座

国際交流・協力等を目的に設立された既存のNGOや、これからNGO活動を始めた人を対象に、研修等を実施した。

- ・期日及び会場：1月31日（土） 新潟東急イン
- ・内容：
 - 基調講演
 - 【講師】ネパール・ムスタン地域開発協力会理事長 近藤亨氏
 - パネルディスカッション
 - 【コーディネーター】広川 俊男 氏（新潟産業大学学長）
 - 【パネリスト】山崎 唯司 氏（JICA地球ひろば市民参加協力アドバイザー）
 - 三浦 真 氏（新潟国際ボランティアセンター代表）
 - 内藤 眞 氏（ミャンマーの医療を支援する会代表）
- ・参加者：県・市町村、NGO団体等82人

（2）ボランティアバンクの運営

ボランティアレベル・活動歴等の把握を通して、適材適所にボランティアを活用するなど、協会の調整機能を向上させるとともに、研修事業の充実など、ボランティアバンクの更なる活性化をはかった。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーターの活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 145名
（英語：103名、韓国語：18名、中国語：21名、ロシア語：5名、タイ語：5名、タガログ語：2名）
- ・アースサポーター登録者数 47名
- ・イベント等への延べ紹介数 117名

②語学講座

新潟県国際交流協会研修室を利用して、通訳・翻訳ボランティアを対象とする、英語、韓国語、ロシア語、中国語の講座を実施した。

- ・英語：6月12・19日、11月5・9・29日
延べ参加者27名
- ・韓国語：10月5日、11月9日
延べ参加者16名
- ・中国語：11月9日 参加者4名
- ・ロシア語：11月29日 参加者3名



語学講座（英語）

(3) 大学生リーダー育成・学校での活用プログラム

①国際理解教育事業(新潟大学連携事業)

大学生を対象にアジア理解講座を学部科目として開催するとともに、平成19年度に作成した、小・中学校において国際理解教育を行う際の社会科学習指導プランを活用した研究授業を行った。

ア アジア理解講座の実施

新潟大学教育学部開講科目「グローバル経済論」の一部として、大学生及び一般県民を対象に、連続10回の講座を開講した。

10月18日以外は、新潟大学教育学部204教室で毎週水曜日に実施した。

○10月8日 「新潟からアジアにどう関わるか」

長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏

○10月15日 「文書を通してみる日中の歴史・文化交流」

新潟大学教育学部教授 鶴田 一雄 氏

○10月18日(土) 「多文化化する日本の学校とアイデンティティ教育の課題」

新宿区立大久保小学校教諭 善元 幸夫 氏 (会場：クロスパルにいがた)

○10月22日 「韓国の学校教育と子どもたち」

韓国小学校教員 ユ ソンジャ 氏

○11月12日 「トキ保護活動にみる日本と中国の関わり」

新潟大学農学部准教授 本間 航介 氏

○11月19日 「新潟県日中友好協会による黒龍江省との交流活動の意義」

NPO 法人新潟県日中友好協会常任理事 今野 正敏 氏

○11月26日

「バレーボールの国際交流を通してアジアのスポーツ事情を知る」

新潟大学教育学部准教授 八坂 剛史 氏

○12月3日 「成長するアジア経済の中の日本」

日本貿易振興機構海外調査部 荒木 義宏 氏

○12月10日 「東南アジアの少数民族と貧困問題」

新潟大学教育学部准教授 笠井 直美 氏

○12月17日

「日本の歴史認識の現状とアジアとの共生関係構築の課題について考える」

新潟大学教育学部教授 宮菌 衛 氏

イ 研究授業の実施

平成19年度作成した社会科学習指導プラン「アジア理解を深めるための社会授業プログラム開発ータイ理解のための授業プランー」を活用して、次の学校において研究授業を行った。



研究授業 (有明台小学校)

- 三条市立大崎中学校
日時：10月21日（火） 対象：中学1年生3クラス（120名）
- 新潟市立有明台小学校
日時：2月24日（火） 対象：小学6年生2クラス（56名）
- 新潟市立東曾野木小学校
日時：2月25日（水） 対象：小学6年生1クラス（30名）

②国際交流インストラクター養成事業

（新潟国際情報大学・敬和学園大学・県立新潟女子短期大学連携事業）

大学生（110名、情報大：57、敬和：24、県短：29）をインストラクターに養成し、小・中・高校生などを対象に国際社会への関心と学習意欲を高めるためのワークショップを実施した。

- ・派遣実績：県内小・中・高等学校24校（小：16、中：4、高：4）へ派遣
このほか、8月1日（金）～3日（日）に開催した「にいがた国際交流フェスタ」でもワークショップを実施。
- ・テーマ：「世界の現実」「世界の不平等」
「異文化理解」「いきやすい世界ってどんなの？」
「君が見ている世界は「真実（ホント）の」世界??？」

（4）相談・通訳員育成

多言語の生活相談・通訳員（特に少数言語）を新たに発掘・育成する研修等を実績のある民間団体に委託して実施した。

- ・委託先：（社）上越国際交流協会、新潟ヘルプの会
- ・発掘・育成人材：インドネシア語2名、タイ語1名、ポルトガル語1名
タガログ語2名、中国語1名

（5）医療通訳育成

外国籍住民等の医療状況を把握するために、県内病院、診療所等に対し医療状況調査を行い、報告書にまとめた。また、関係者を参集しての部会や先進地視察を行うとともに、医療関係者・通訳ボランティア・民間団体等を対象にした医療通訳事業勉強会を開催した。

○医療通訳事業勉強会

- ・期日及び会場：1月31日（土） クロスパルにいがた
- ・テーマ及び講師：
 - 「宮城県における外国人保健・医療支援への取り組み」
（財）宮城県国際交流協会企画事業課長 大村 昌枝 氏
 - 「医療現場における外国人医療支援」
佐久総合病院総合診療科医師 高山 義浩 氏
 - 「山形県における外国人住民への医療支援活動について」
NPO 法人国際ボランティアセンター山形（IVY）理事 西上 紀江子 氏
- ・参加者：40名

(6) 災害時サポーター育成

県内で災害が発生した時に、行政と民間が連携して災害時要援護者である在住外国人を支援できるよう、県内における人材の育成と地域間で相互に応援できる体制の整備を図るため、セミナーを開催した。

・期日及び会場：10月9日（木）・10日（金） ながおか市民センター

・内容：【9日】

○総論 講師：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏

○災害時多言語情報作成ツールの使用方法

多言語表示シート作成ツール

講師：（財）自治体国際化協会地域支援課主査 矢部 優司 氏

携帯電話用多言語情報作成ツール

講師：（株）グローバルコンテンツ社長 中村 満寿央 氏

多言語音声情報作成ツール

講師：（株）FMわいわい社長 日比野 純一 氏

○災害現地の支援センターと情報提供

講師：（財）新潟県国際交流協会事務局次長 佐藤 康雄 氏

【10日】

○外国人とのコミュニケーション

コーディネーター：長岡市国際交流センター長 羽賀 友信 氏

パネリスト：長岡市国際交流センター主任 小熊 恵介 氏

（財）柏崎地域国際化協会事務局長

清水 由美子 氏

元（財）新潟県国際交流協会ボランティア相談員

須田 麗子 氏

長岡市教育委員会ブラジル籍児童生徒支援者

松崎 ヴェルダ 氏

新潟大学留学生 劉 笑寒 氏

新潟産業大学留学生 娜仁高娃 氏



情報提供のワークショップ

○県外先進地域の取り組み紹介

講師：（財）仙台国際交流協会事業推進係長 須藤 伸子 氏

○県内大学における災害時外国人支援の取り組み紹介

講師：新潟大学学生 大野 雅嗣 氏

新潟産業大学国際センター職員 渡辺 美也 氏

・参加者：市町村、市町村国際交流協会、民間団体、大学、ボランティア等
延べ110名

Ⅳの3 基盤強化（調査研究） 805,860 円

13. 調査研究事業 805,860 円

（1）特定地域実態調査

佐渡市が国際化に対応するための施策を策定するにあたり、佐渡市民の外国人住民や外国人観光客の受け入れなどに対する考え方や意見、要望の基礎情報を得、また活用することを目的として実施した。

- ・対象地域：佐渡市
- ・調査期間：3月3日（火）～3月15日（日）
- ・調査対象：佐渡市に居住する、外国人を除く20歳以上の男女個人
- ・標本数：1,000サンプル。佐渡市住民基本台帳からの無作為抽出
- ・有効回答数：473サンプル
- ・調査項目：佐渡市の国際化、外国人誘客の取組、多文化共生への取組など
- ・調査方法：自己記入式アンケート
- ・調査結果：県協会ホームページに掲載

Ⅳの4 基盤強化（広報情報提供） 2,766,220 円

14. 広報ライブラリー運営事業 1,120,502 円

県内団体や一般県民等に、国際交流・国際協力に関する情報や当協会の事業等について情報を提供した。

（1）PR記事掲載

- ①新潟NPO協会発行の情報誌「SO-SO」vol.9掲載
- ②朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」掲載（年4回）

（2）年次報告書発行

平成19年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

（3）プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成21年3月末現在）

- ・図書 4,203冊
- ・各種団体発行物

（財）自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

- ・ビデオ 533 本、DVD 43 本、CD 134 本、CD-ROM 8 本
開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等
- ・雑誌 42 誌
- ・新聞 日本語 2 紙（新潟日報、日経）
外国語 4 紙（イェベスチャー、ジャパンタイムズ、人民日報、東亜日報）
- ・その他の資料 県内外のNGO、全国の国際交流協会機関誌
語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出しは賛助会員のみ）

- ・図書 38 冊、ビデオ 5 本

15. IT活用促進事業 855,966 円

昨年度改訂したホームページの機能を生かし、情報提供の充実を図った。

- ・県協会、県内外イベント情報のBlog 機能を活用し、最新の情報を素早く掲載した。
- ・メールマガジンの発行を行い、関係団体・個人等に国際交流に関する情報を発信した。

16. 賛助会員募集 179,276 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	16 年度末	17 年度末	18 年度末	19 年度末	20 年度末
個人	96	80	60	48	31
団体	86	78	74	74	71
計	182	158	134	122	102

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 28 件) (県立近代美術館割引券利用件数 9 件)
団体会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (64 件) ・国際化推進活動支援助成金の交付 (26 団体、総額 2,660,181 円) ・印刷機・紙折機の利用

個人・団体 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書（0冊）・ビデオ（2本）・ふれあい地球人ボックス（12件）、国旗（56件）の貸出 ・インターネット用パソコンの利用 ・協会イベント情報等のメール提供
-------------	---

17. 国旗等貸出 179,277円

国際交流活動を行う賛助会員や諸団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス（民族衣装、グッズなど）の貸出しを行った。

貸出実績：国旗 45 団体・109 件、地球人ボックス 25 団体等・43 件

18. 国際化連絡会議開催事業費 281,199円

下越、中越、上越地区において、市町村・民間団体等と情報・意見交換を行う会議を開催した。

○下越会場

- ・期日及び会場：5月23日（金） 朱鷺メッセ中会議室
- ・参加団体・人数：40 団体、53 名

○中越会場

- ・期日及び会場：5月21日（水） ホテルニューオータニ長岡
- ・参加団体・人数：14 団体、22 名

○上越会場

- ・期日及び会場：5月22日（木） 上越市市民プラザ
- ・参加団体・人数：10 団体、22 名

19. 全国豊かな海づくり大会イベント事業費 150,000円

全国豊かな海づくりにブース出展し、国際理解に関する展示やゲームを行った。また、ステージにおいて、民間団体に依頼し、ガムラン音楽とインドネシア民族舞踊を披露した。

- ・期日及び会場：9月6日（土）・7日（日）
朱鷺メッセウェブマーケット、屋外多目的広場等
- ・来場者数（全体）：47,000 人



インドネシア サマンダンス